

山形大学校友会理事会（第16回）議事録

平成26年6月19日（木）
15時00分～16時23分
山形大学事務局第1会議室

（議題）

- 1 校友会副会長の選出について
- 2 平成25年度事業報告及び収支決算について
- 3 平成26年度事業計画及び収支予算について
- 4 校友会設立10周年記念事業について
- 5 その他
 - (1) 「山形大学卒業生若者の集い」の開催について
 - (2) 「卒業生の人財バンク登録事業」について
 - (3) 「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク」について
 - (4) 小白川～飯田キャンパス間の通学用シャトルバスについて
 - (5) メールマガジンによる情報配信について
 - (6) 理学部建物火災に伴う学生支援について
 - (7) 平成26年度山形大学OB・OGセミナーの開催日について
 - (8) その他

（出席者）

会 長： 小山清人（議長）
副会長： 酒井順一、神戸士郎
理 事： 小池信明、会田輝昭、上村勘二、長沼龍平、佐藤和佳子、山崎洋一郎、
齋藤博行、大場好弘、國方敬司（代理 元木幸一）、竹田隆一、角田憲一、
石井 滋、岩城功希
監 事： 丸山俊明、寒河江良三

（欠席者）

理 事： 丹 政樹、丹野憲昭、栗野久造、佐々木優心、加藤丈夫、栗山恭直、
山川光徳

（列席者）

小関エンロールメント・マネジメント部長、鈴木EM企画課副課長、
大沼校友会事務局長、山口校友会事務局次長、渡部係員

議事に先立ち、結城前会長の後を受けこの4月から会長となった小山学長から就任の挨拶があり、引き続き、新任の理事及び出欠状況について紹介があった。

（議題）

1 校友会副会長の選出について

議長から本件について提案があり、阿部前副会長がこの4月から山形大学理事に就任したため副会長1人が欠員となったこと、及び会則に基づく選出方法について説明の後、工学部選出の神戸士郎理事に副会長をお願いしたい旨提案があり、諮られた結果、承認された。

2 平成25年度事業報告及び収支決算について

議長から本件について提案があり、事務局から、「平成25年度事業報告（個別表添付）（案）」及び「平成25年度収支決算書（案）」について資料2及び資料3に基づき概ね次のような説明があり、引き続き、丸山監事から監査報告（資料4）があった。

（内容）

- (1) 平成25年度事業の実施状況については、資料2にそれぞれの概略を記載した。
- (2) 実施した事業により作成した報告書を席上回覧したのでご覧いただきたい。
なお、持ち帰りを希望される場合は申し出願いたい。
- (3) 平成25年度の収入においては、米沢工業会や鶴窓会の機関誌等発送に合わせて校友会会報（入会案内を含む。）を同封させていただいた結果、一般会員として新たに238人からの入会登録があった。
- (4) 平成25年度の事業費として20,500千円を予算化したが、最終的には280万円程の執行残が生じた。
- (5) 「校友会」の認知度を高める広報の一環として、平成26年度新入生に贈る記念品を作製し、経費は予備費から支出した。

説明の後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認された。

3 平成26年度事業計画及び収支予算について

委員長から本件について提案があり、酒井専門委員会委員長から、去る5月29日に開催された委員会における審議状況について次のような報告があった。

（内容）

- (1) 平成26年度の申請件数は、継続事業15件及び新規事業15件の合計30件で総額51,246千円となっている。
- (2) 平成26年度の予算については、会費収入は一般会員の増を見込み2,000万円とし、繰越金1,700万円と合わせて総額約3,700万円となるが、事業計画全体の規模は2,700万円程度としたい。
- (3) 各事業の審査に当たっては、「平成26年度校友会事業計画の検討に当たって（検討のポイント）」を基本としたい。
- (4) 校友会大学院学生表彰制度の創設による記念品は、学生1人に奨励金5万円としたい。
- (5) 委員会審議を踏まえ、本日の配付資料を専門委員会案として本理事会に提案することとした。

引き続き、事務局から、「平成26年度事業計画書提出一覧（個別表添付）」、「平成26年度事業計画（案）」及び「平成26年度収支予算書（案）」について、資料5、資料6及び資料7に基づき概ね次のような追加説明があった。

（内容）

- (1) 平成26年度の採択件数は、継続事業15件及び新規事業10件の合計25件とし、事業費総額は23,170千円としたい。
なお、運営費は前年度と同額400万円としたい。
- (2) 事業採否の審議に当たり、専門委員会における意見等を個別に整理し、資料6の添付審議資料に記載した。
- (3) 新入生記念品を追加で作製する経費やその他新たな取り組みにも対応するため予備費を200万円としたい。

説明の後、次のような意見交換があった。

- 校友会事業として実施する事業は、マスコミ発表等を通じて学生が頑張っている様子を積極的にアピールしてもらいたい。(齋藤理事)
- ◎ 校友会事業は学生が参画する事業がほとんどであり、実施する部局に改めて周知徹底したい。(事務局)
- 本年 10 月には卒業生による記念特別講演を含め米沢工業会創設 90 周年記念行事を予定しており、何らかの形で校友会の支援をお願いしたい。(山崎理事)
- ◎ 具体的な支援方法を含め予備費を活用してはどうか。(会長)

種々意見交換の後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認された。

なお、本年度に実施される米沢工業会創設 90 周年記念事業への校友会からの支援として、必要性を考慮しつつ予備費から 40 万円を限度として支出することが確認された。

4 校友会設立 10 周年記念事業について

議長から本件について提案があり、事務局から、校友会は平成 28 年度に設立 10 周年を迎えることになっており、資料 8 に基づき 3 項目の提案内容について説明があった。

説明の後、次のような意見交換があった。

- 樹氷会の定例会において首都圏ネットワークの件を紹介したところ、校友会会員になっている卒業生とそうでない卒業生が混在するということが話題となった。校友会の会員はどういう構成(区別)になっているのか。(佐藤理事)
- ◎ 校友会は平成 18 年 12 月に設立され、平成 19 年度新入生から入学時において生涯会費(10,000 円)を納入いただいている。その点では平成 18 年度以前の卒業生は校友会に加入していない方がほとんどである。(事務局)
- 同窓会と同じように卒業生全員も校友会の賛助会員と見做せないか。
(齋藤理事)
- ◎ 規定上、各学部同窓会は賛助会員になっている。そして、同窓会会員のうち生涯会費を納めていただいた方が校友会の正会員として登録されている。(事務局)
- 山形大学の卒業生であるという前提では一致するが、疑問な点も出されており、校友会と各同窓会との役割や位置付け等をさらに整理する必要があるのではないか。(長沼理事)

種々意見交換の後、議長から本件について諮られた結果、原案どおり承認された。

なお、議長から、後日、本校友会理事の中からワーキング委員若干人を委嘱するのでよろしくお願いしたい旨述べられた。

5 その他

(1) 「山形大学卒業生若手の集い」について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、校友会の会員で卒業後 5 年程度までの若い卒業生に絞って、学部横断的な「山形大学卒業生の集い」を実施するものである旨資料 9 に基づき説明があった。

(2) 「卒業生の人財バンク登録事業」について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、山形大学の卒業生の中から“人財バンク”に登録いただき、本学の学生に対して講演や相談・就職アドバイス等を担当いただくものである旨資料 10 に基づき説明があった。

説明の後、次のような意見交換があった。

- 推薦締め切りが 8 月 30 日（金）となっているが、同窓会には各地域支部もあり、もう少し余裕がほしい。（齋藤理事）
- ◎ 締め切り日を遅らせることは了解いたしました。なお、本件は同窓会本部に照会したいと考えておりますのでよろしくお願いしたい。（事務局）

（3）「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク」について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料 6（5 月 29 日校友会専門委員会議事録）を参照し、概ね次のような説明があった。

（内容）

- ① 首都圏にある山形大学同窓会と校友会との連携協力が図られることを期待して平成 25 年 12 月に「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク」を立ち上げた。
- ② 初代会長には鶴窓会関東支部の岩城功希さんが就任している。
- ③ 今年の 3 月に開催した山形大学 OB&OG セミナーでは、早速、それぞれの同窓会参加者の受付をはじめ協力をいただいた。
- ④ 前回の理事会に本件を報告したところ、「当該ネットワークの目的や事業は理解できるものの、規約第 5 条に関する表現を見直してもらいたい。」旨の要望があった。
- ⑤ 必要な規約の見直し等も含め、本年 12 月 20 日開催の当該ネットワーク総会において審議する予定である。

（4）小白川～飯田キャンパス間の通学用シャトルバスについて

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料 6（5 月 29 日校友会専門委員会議事録）を参照し、概ね次のような説明があった。

（内容）

- ① 本件は前回の本専門委員会において話題となり、医学部としての考え方を整理して改めて検討することとしていたものである。
- ② その後、医学部において、シャトルバス運行の効率性や経費面から総合的に検討され、当面は現行のままでも仕方がないとの結論を得たものである。
- ③ その結果、特段の対応はしない。

（5）メールマガジンによる情報配信について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料 6（5 月 29 日校友会専門委員会議事録）を参照し、概ね次のような説明があった。

（内容）

- ① 本件は、卒業生、在学生、教職員が利用できる SNS として、山形大学「やまがた・ゆうネット」を立ち上げるべく、現在準備中である。
- ② 立ち上がるまでの間、広報活動の手段としてのホームページ、会報、ニューズレターに加え、メールマガジンを開始して情報を発信したい。
- ③ 6 月中には発信すべく準備中である。

(6) 理学部建物火災に伴う学生支援について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料6（5月29日校友会専門委員会議事録）を参照し、概ね次のような説明があった。

(内容)

- ① 本件については、前回の理事会で話題となったものであるが、幸いにして学生への被害(パソコンなど)は少なかったとのことである。
- ② 学生への直接的な被害の対応についてもほぼ終了したと伺っている。
- ③ そのようなことから、校友会として今回の火災では特段の対応は見送ることとしたい。

(7) 平成26年度山形大学OB・OGセミナーの開催日について

議長から本件について報告したい旨発言があり、事務局から、参考資料6（5月29日校友会専門委員会議事録）を参照し、概ね次のような説明があった。

(内容)

- ① 本件は、平成27年3月7日(土)に山形大学東京サテライトを会場として開催するので、ご承知置きいただきたい。
- ② 今回で第10回目の記念となるOB・OGセミナーであり、何か良いアイデアや要望等があればお寄せいただきたい。

(8) その他

特になし

最後に、議長から、次回の理事会開催は平成27年2月13日(金)を予定しており、当日は、「各学部同窓会及び校友会と山形大学との情報交換会」も合わせて実施予定である旨述べられた。

配付資料一覧

- 山形大学校友会理事会 席次
- 山形大学校友会理事会（第16回）次第

- 資料 1 山形大学校友会理事・監事一覧（H26.6.19 現在）
- 資料 2 平成25年度事業報告(各事業報告書添付)（案）
- 資料 3 平成25年度収支決算書（案）
- 資料 4 平成25年度監査報告書
- 資料 5 平成26年度事業計画書提出一覧（各事業計画書添付）
- 資料 6 平成26年度事業計画（案）
（専門委員会審議状況を含む。）
- 資料 7 平成26年度収支予算書（案）
- 資料 8 山形大学校友会設立10周年記念事業について
- 資料 9 「山形大学卒業生若者の集い」の開催について
- 資料10 山形大学卒業生の「人財バンク登録事業」へのご協力について

[参考資料]

- 1 山形大学校友会会則
 - 2 山形大学校友会専門委員会規程
 - 3 山形大学校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ
 - 4 山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク規約
 - 5 校友会理事会第15回（H26.2.14）議事録
 - 6 校友会専門委員会第15回（H26.5.29）議事録
- 山形大学 2014年度行動計画
 - 山形大学広報誌「みどり樹 vol.59」
 - 「新入生保護者の皆さまと山形大学との交流会(26.6.28)」案内
 - 「山形大学校友会」をご理解いただくために！！〈Q&A〉

※**席上回覧** 平成25年度事業実施に伴う成果報告書など

- ① 2014 挑戦 今、挑戦すべき企業
一分野ごとに独自にカテゴリー分けした全12社一〈資料2の番号3〉
- ② 山形大学校友会ニュースレターNo.1 〈資料2の番号9〉
- ③ 平成22～24年度 留学報告書〈資料2の番号10〉
- ④ カトリカ大学派遣プログラム学習報告書〈資料2の番号11〉
- ⑤ 修学支援事業報告書〈資料2の番号15〉
- ⑥ 「国際理解のためのサマースクール」報告書〈資料2の番号17〉